

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)  
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2022年8月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2022年8月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

年 月	2023年3月期											
	2022年									2023年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	457	432	500	420	493							
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	130,806	139,280	141,401	113,223	119,648							
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	348,893	349,810	350,630	351,580	352,358							
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	56,841	56,680	57,597	57,397	58,239							
一般顧客	55,261	55,126	55,939	55,862	56,679							
金融法人 (BtoB)	1,579	1,553	1,658	1,534	1,559							
マネパカード口座数 (単位: 口座)	158,807	158,600	158,387	158,213	158,026							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

## < 8月次の概況 >

8月の外国為替相場は、米国の金利先高感や日本のゼロ金利政策、欧州のエネルギー危機を背景にドル高が進展しました。

米ドル/円は1ドル=133円台前半で取引が始まり、2日に台湾問題を巡る米中の対立が深まることへの警戒感からリスク回避姿勢が強まり円買いの流れとなって一時130円台半ば（月中安値）を付けました。しかし、良好な米経済指標や相次ぐFED高官のタカ派的な発言を受け反転、その後は上昇基調で推移しました。26日のジャクソンホールの講演ではFRBパウエル議長がインフレ抑制を優先する決意を強調。これによりFRBの積極的な金融引き締め長期化が意識されることとなり米長期金利の上昇も相俟ってドル高が加速しました。30日には約1カ月半ぶりに139円を回復、一時139円台前半（月中高値）まで上昇した後に138円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については各通貨まちまちの動きとなりました。豪ドルは米ドルと同様の動きを見せ、円に対する取引では月初から上昇傾向で推移しました。一方ユーロは円に対する取引では方向感なく推移した後に下旬から月末にかけて上昇、米ドルに対する取引では一時パリティ割れまで下落しました。

米ドル/円の1日の平均値幅は1.549円（前月は1.244）と前月より拡大した一方で、欧州・オセアニア通貨をはじめ、ほとんどの通貨ペアで1日の平均値幅が前月より縮小しました。これにより外国為替相場の変動率は全体としては前月を下回ったものの、2月下旬のロシアのウクライナ侵攻以降、高い水準が続いています。

このような状況の中、パートナーズFXnanoでは先月に引き続き「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の計5通貨にて、当社所定の注文数量まで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）を提示する業界初となるキャンペーンを続行しております。併せて、ゴールデンマネパタイム（17時00分から26時00分まで、以下同じ。）において、「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめ計17通貨ペアのスプレッドを業界最狭水準で提示するキャンペーンを続行しました。

「約定力100%」のパートナーズFXでも前月に引き続き、ゴールデンマネパタイムにおいて「米ドル/円」、「豪ドル/円」をはじめ計18通貨ペアにて、パートナーズFXnanoに次ぐ業界最狭水準のスプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。

「まいにち金・銀 (CFD-Metals)」においても、ゴールデンマネパタイムにて「金/米ドル」スプレッド0.2pips、「銀/米ドル」スプレッド0.2pipsの業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを続行しております。

これに加えて、パートナーズFXでは引き続き「米ドル/円」、「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」、「米ドル/トルコリラ」の計5通貨ペアにてキャッシュバックキャンペーンを実施しております。こちらのキャンペーンは期間中（9月1日6時10分から10月1日5時50分まで）の取引数量に応じてキャッシュバックを得られるだけでなく、期間中の取引日数に応じて最終的なキャッシュバック額を最大25%増額しております。また当社所定の期間（8月1日7時00分から9月1日5時55分まで）に通貨ペアを問わず1度でも当社でFX取引をされたお客様がキャンペーン期間中に1日でもお取引いただくと、3%のキャッシュバック増額からスタートしていただける内容としております。「まいにち金・銀 (CFD-Metals)」でも「金/米ドル」、「銀/米ドル」を対象として、パートナーズFXと同様にキャッシュバックキャンペーンを実施しており、取引日数に応じてキャッシュバックが増額となります。

また、パートナーズFXnano、パートナーズFXでは、前月に引き続きマネパにおかえりなさいキャンペーンとして、過去に一度でもお取引（約定成立）したことがあるお客様のうち2022年7月～8月に新規・決済取引がないお客様を対象に、キャンペーン期間中の取引数量に応じたキャッシュバックを行う内容のキャンペーンを実施しております。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比6%増加の1,196億通貨単位となりました。営業収益は、取引高の増加等によりトレーディング損益が増加したことに加え、システム関連売上高が増加し、前月比17%増加の493百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分、金融法人分がそれぞれ増加し、全体では前月比841百万円増加の58,239百万円となりました。

以 上